

令和6年度(令和5年度実施事業分) 主要事業評価各課総括表・2次評価表
2次評価者

半田病院管理課 病院事務局長 坂元 照幸

整理No	主要事業名	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
		自己評価	評価内容	方向性	内容
38-1	病院経営事業	A	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う社会活動の正常化により、回復基調にある医療需要に対し、第3次救急の病院機能を維持し、地域の基幹病院としての役割を全うした。 医療体制の正常化も進む中で、地域の医療機関との連携を図ることで紹介率は85.7%（前年度比+4.2%）、逆紹介率は110.3%（前年度比+4.7%）となり、新規入院患者の増や平均在院日数の短縮につながった。 収支状況については、新病院建設の影響により、経常収支及び純利益は赤字に転じたが、医業収支は昨年度を上回る黒字（14年間連続）となり、当初予定した赤字を大幅に縮減した。 今後は、新病院の開院に向けて一層の経営基盤強化に取り組むとともに、常滑市民病院との経営統合、地方独立行政法人化に向けた両院の診療機能分担、職員の人事・給与制度・事務システム構築などを行っていく必要がある。	改善推進	令和7年4月の新病院開院に向け、必要かつ最適な投資を行うとともに、経営統合する常滑市民病院との機能分担や診療体制の合理化を推進することで、地域に求められる医療、より質の高い医療を提供することにより収益を確保していく。
38-2	新病院建設事業	B	設計者と施工者、エネルギーサービス事業者とともに定例会議、各種分科会を開催し、設計図に従い、施工計画書や施工図、使用資材を検討し工事を進めた。建築確認申請の中間検査も予定通り合格した。物価スライドについては、刊行物等から適正な価格を確認し、補正予算で対応した。躯体工事は各種検査を確実にを行い、品質を確保した。	現状維持	令和7年4月の開院に向け、各種法令等に適合するよう新病院を建設し、建築基準法の規定による検査済証、病院開設許可の交付を受ける。
課等長	1次評価（令和5年度の総括評価）				
A	新病院建設に伴う費用の増により最終利益は赤字に転じたが、医業利益は前年度比1.7億円増の6.8億円で、14年連続の黒字となった。地域医療機関との連携強化が進む中、紹介率や逆紹介率の増により新規入院患者数や診療単価の増を実現し、より高度急性期に特化した医療を提供することができた。新病院建設については、人件費や物価の高騰に加え、長期金利の大幅な上昇による資金調達コストの増が経営に大きな影響を及ぼしている。常滑市民病院との経営統合については、新法人の定款や評価委員会共同設置規約（案）の制定に加え、中期計画の策定など、独法化に必要な具体的な手続きを進めた。				
部等長	2次評価（令和5年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項）				
A	社会活動の正常化に伴う医療需要の増加に対し、圏域において求められる基幹病院として役割を全うすることで、医業利益の増を実現し、当初見込んだ赤字を大幅に削減することができた。これは強い経営体質を築き上げてきた結果であると評価している。新病院建設事業については、概ね予定どおりの進捗となったが、世界情勢の影響等による納期遅延リスクに引き続き注視しつつ、新病院の運用計画や移転計画の作成等、建設支援業務を行い、円滑な開院に向けて取り組んでいく必要がある。また、持続可能な地域医療提供体制を確保すべく、地方独立行政法人化や経営統合の効果を最大限発揮できるよう両病院が一体となって事業に取り組む必要がある。				

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート							No.	38-1
PDCA	主要事業名	病院経営事業	部課名	半田病院管理課	担当	竹内		
					内線	22-9881		
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 3 - 3 - 2 単位施策： 半田病院						目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用	
	全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 27,772,149 千円							
	会計		半田病院事業会計		歳出科目：			
	事業概要等	事業概要： 知多半島医療圏内で唯一、救命救急センターを有し、高度急性期医療を担うほか、災害医療や周産期・小児医療等の政策的医療の提供も積極的に行っている。また、がん診療連携拠点、臨床研修、地域医療支援病院としての指定も受け、圏域における中核的な役割を担っている。						
		事業目的： 市民の福祉、健康保持に必要な安全で安心かつ質の高い医療を提供する。						
		事業内容： 救急・がんなどの高度医療や、地域の医療機関等との役割分担、連携の中心的な役割を果たすとともに、効率的で健全な経営を継続することで安定した医療を提供する。						
		問題点・課題等： 半田病院と地域の医療機関との医療機能の分化・強化・連携をさらに推進し、地域全体で高度急性期から回復期、療養期までの総合的な医療体制を構築するとともに、新たな感染症発生の状況下でも持続可能な地域医療体制を整備することが必要である。また、医師および看護師を安定して確保し、質の高い医療を継続して提供することが求められてる。						
	予算額	主要事業とする理由						
	27,772,149 千円	健全経営のもと地域の基幹病院としての役割を果たすことが、地域医療の安定、そして地域住民の安心につながるため。						
	財源内訳	得られる成果						
市費 783,887 千円	地域医療機関との連携のもと、高度急性期から療養期まで切れ目がなく、質の高い医療を継続して提供できる。							
国費 10,204 千円	目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位		
県費 19,022 千円	経常収支比率	実績値	105.7	107.4	—	%		
		目標値	101.0	101.0	94.0	%		
		医業収支比率	実績値	101.9	103.8	—	%	
その他 26,959,036 千円		目標値	100.0	104.0	102.0	%		
			実績値					
		目標値						

D 実績値 得られた成果と	決算額	得られた成果					主要施策の成果報告書で活用	
	25,682,561 千円	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う社会活動の正常化により、回復基調にある医療需要に対し、第3次救急の病院機能を維持し、地域の基幹病院としての役割を全うした。						
		医療体制の正常化も進む中で、地域の医療機関との連携を図ることで紹介率は85.7%（前年度比+4.2%）、逆紹介率は110.3%（前年度比+4.7%）となり、新規入院患者の増や平均在院日数の短縮につながった。						
		成果指標		令和5年度	単位			
	経常収支比率	実績値		99.2	%			
		目標値		94.0	%			
	医業収支比率	実績値		104.9	%			
		目標値		102.0	%			
		目標値						
C 課題の整理	事業の評価・課題	A					主要施策の成果報告書で活用	
		新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う社会活動の正常化により、回復基調にある医療需要に対し、第3次救急の病院機能を維持し、地域の基幹病院としての役割を全うした。医療体制の正常化も進む中で、地域の医療機関との連携を図ることで紹介率は85.7%（前年度比+4.2%）、逆紹介率は110.3%（前年度比+4.7%）となり、新規入院患者の増や平均在院日数の短縮につながった。収支状況については、新病院建設の影響により、経常収支及び純利益は赤字に転じたが、医業収支は昨年度を上回る黒字（14年間連続）となり、当初予定した赤字を大幅に縮減した。今後は、新病院の開院に向けて一層の経営基盤強化に取り組むとともに、常滑市民病院との経営統合、地方独立行政法人化に向けた両院の診療機能分担、職員の人事・給与制度・事務システム構築などを行っていく必要がある。						
A 課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	改善推進						
		令和7年4月の新病院開院に向け、必要かつ最適な投資を行うとともに、経営統合する常滑市民病院との機能分担や診療体制の合理化を推進することで、地域に求められる医療、より質の高い医療を提供することにより収益を確保していく。						
	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※手段の変更		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	38-2																																		
PDCA	主要事業名	新病院建設事業	部課名	半田病院管理課	担当	鈴木																																		
					内線	22-9881																																		
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 3 - 3 - 2 単位施策： 半田病院 全体事業期間： 平成 30 年度 ~ 令和7 年度 全体事業費等： 35,346,631 千円 会計 半田病院事業会計 歳出科目：																																							
	事業概要等	事業概要： 現病院の老朽化・狭あい化、耐震面での課題を解消し、最新医療機器の導入とあわせて急性期医療をさらに高度化するとともに、新たな感染症にも対応でき、大規模な自然災害時にも継続可能な新病院を建設する。令和7年春の開院に向けて、新病院建設工事、工事監理、医療コンサルタント等を実施する。																																						
		事業目的： 知多半島医療圏の中南部の地域の皆さんに、良質な医療を途切れなく安定的に提供し、安心して暮らせる医療環境を守るため。																																						
		事業内容： 令和7年春の開院に向けて、本体工事、設備工事を行う。																																						
		問題点： 半導体不足、カーボンニュートラル、建設業界の働き方改革、新型コロナの課題等： 影響等による建設資材等の価格高騰や納期の遅れを注視する必要がある。																																						
	予算額	主要事業とする理由																																						
	11,196,233 千円	現病院の老朽化・狭あい化、耐震面での課題を解消し、知多半島中南部全域における中核病院として、継続的に医療を提供するため。																																						
	財源内訳	得られる成果																																						
	市費 56,117 千円	現病院の老朽化・狭あい化、耐震面での課題を解消し、最新医療機器の導入とあわせて、医療環境の変化にも対応できる拡張性の高い新病院を建設する。																																						
	国費 0 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値や目指すべき状態</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業進捗率</td> <td>実績値 3.4</td> <td>12.4</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値 3.4</td> <td>15.1</td> <td>55.5</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	事業進捗率	実績値 3.4	12.4	—	%		目標値 3.4	15.1	55.5	%		実績値					目標値					実績値					目標値		
目標値や目指すべき状態	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位																																				
事業進捗率	実績値 3.4	12.4	—	%																																				
	目標値 3.4	15.1	55.5	%																																				
	実績値																																							
	目標値																																							
	実績値																																							
	目標値																																							
県費 0 千円																																								
その他 11,140,116 千円																																								
D 実績 得られた成果と	決算額	得られた成果																																						
	9,477,993 千円	設計者と施工者、エネルギーサービス事業者とともに定例会議、各種分科会を開催し、設計図に従い、施工計画書や施工図、使用資材を検討し工事を進めた。建築確認申請の中間検査に予定通り合格し着実に工事を進めた。																																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業進捗率</td> <td>実績値 51.3</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値 55.5</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					成果指標	令和5年度	単位	事業進捗率	実績値 51.3	%		目標値 55.5	%																									
	成果指標	令和5年度	単位																																					
	事業進捗率	実績値 51.3	%																																					
	目標値 55.5	%																																						
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 設計者と施工者、エネルギーサービス事業者とともに定例会議、各種分科会を開催し、設計図に従い、施工計画書や施工図、使用資材を検討し工事を進めた。建築確認申請の中間検査も予定通り合格した。物価スライドについては、刊行物等から適正な価格を確認し、補正予算で対応した。躯体工事は各種検査を確実にし、品質を確保した。																																						
A 課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	現状維持 令和7年4月の開院に向け、各種法令等に適合するよう新病院を建設し、建築基準法の規定による検査済証、病院開設許可の交付を受ける。																																						
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																		
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ある																																				
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ない	⑧受益者負担適正化余地 ※手段の変更 ない																																				
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない																																						

目標項目（予算計上時に作成）
 予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）
 主要施策の成果報告書で活用